

## 2020 年度事業 進捗報告書（実行団体）

- 提出日 : 2021年 10月 5日
- 事業名 : 病気や障がいがあってもいのち輝く社会へ～福岡におけるこどもホスピス&ハウスの創造とケア共同社会の醸成～
- 資金分配団体 : 公益財団法人原田積善会
- 実行団体 : NPO 法人福岡子どもホスピスプロジェクト

### ① 実績値

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況 *
重い病気の子どもと家族からの相談	相談件数	10件/月	2024年 3月	10月からの相談事業開始に向け、相談場所や相談記録システムの整備を実施。 一部先行して相談を受けている。 また、グリーフの会を2回開催。	2
相談実施要領	共有された相談実施手順	相談受付から相談記録に至る手順が整理され、継続的に相談事業の運営が改善されている	2024年 3月	グリーフの会開催にあたり実施要領を作成。 相談受付様式策定中。	2

子どもホスピス&ハウス・小児緩和ケアの講演会・チャリティイベント	講演会・チャリティイベントの開催回数	講演会・チャリティイベントを年2回開催。	2024年 3月	今年度、以下のイベントを実施。 ・レモネードスタンド In 博多駅 子どもホスピス&ハウスの活動啓発および募金活動  ・コココのダンス(オンライン開催)での講演 子どもホスピス&ハウスの活動啓発	2
ボランティア・プロボノによる活動	ボランティア・プロボノを対象とした企画の回数	講演会・チャリティイベント前にボランティア・プロボノ向け研修を開催。 講演会・チャリティイベント時にボランティア・プロボノによる活動。	2024年 3月	コロナ禍のため、イベント時のボランティア募集は実施しなかった。	3
ボランティア、プロボノ（医療に限らず）登録者	ボランティア登録者数 プロボノ登録者数	登録ボランティア 100名以上 登録プロボノ 20名以上	2024年 3月	緊急事態宣言発出中につき活動自粛。	3
パーソナルケアの実施	ニーズに応じた支援体制	ニーズに応じたパーソナルケ	2024年	事業として持続可能な	2

		アが実施されている。	3月	活動規程を作成中。	
地域社会の参加	写真展の来場者と、子どもホスピス&ハウスの理解度	写真展来場者数 100 名以上 地域住民の理解度（5段階評価 4 以上）	2024 年 3月	地域社会の関わり構築のため、地域社会・企業・行政等に子どもホスピス&ハウスの必要性を訴求。 福岡市議会にて、市議による子どもホスピス&ハウスの必要性について質疑。福岡市の総合的な協力支援体制を求めた。	2

\*進捗状況：1 計画より進んでいる、2 計画どおり進んでいる、3 計画より遅れている、4 その他

## ② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2.概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの内容 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの表現 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの指標 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値
5. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点
今年度の教育啓発としてのイベントである「レモネードスタンド」は、準備段階から感染拡大状況を注視し、ぎりぎりまで開催可否を検討。今回は、ボランティアは募集せず、市販のレモネードペットボトルを活用して、関係者のみで万全な感染防止対策のもと開催した。  「コココのダンス（病気や障がいとともに成長している子ども達が、大人ダンサーや子どもダンサーと出会い、一緒にファシリテーターに導かれ、それぞれの表現方法で個性豊かな世界を作り出すダンスイベント）」はオンライン開催。コココのダンス開催にあたり、ダンサーや関連するスタッフ（市民会館スタッフ含）を対象に、イベント開催前に、医療的ケア児対応のための感染予防について研修した（動画作成したものを事前に全スタッフが視聴した）。  プロジェクト遂行にあたり、毎月プロジェクト運営会議をオンラインで開催し、プロジェクト状況や課題事項の共有を行っている。

## ③ 広報（※任意）

- 1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）  
以下ラジオ番組に出演し、休眠預金等活用事業の取り組みを紹介した。  
7月16日 RKB ラジオ(RKB 毎日放送)「うめ子食堂」  
7月31日 KBC ラジオ(KBC 九州朝日放送)「めぐみのラジオ」
- 2.広報制作物等
- 3.報告書等